

質 疑 応 答

No	質 問	回 答
1	<p>①通学区域候補案が2案となった経過を説明してほしい。</p> <p>②今後も大規模集合住宅の建設が予定されているが、現在の案で新設校は児童の受入れは可能なのか。</p>	<p>①今後、児童数の増加が見込まれる武蔵小杉駅周辺の4校(今井小、中原小、西丸子小、上丸子小)の現在の教室数や今後の児童数の推計値等を分析した結果、中原小と上丸子小は現在の校舎で対応可能と判断し、新設校の通学区域から外した。西丸子小は新設校の予定地となっていること、今井小は資料でお示ししており、数年後には33学級まで増加し現在の教室数では対応できない見通しとなったことから、D案とG案(一部修正)の2案となった。</p> <p>②計画戸数は把握しているが、実際の世帯の構成等は確定していないことで、これまでの周辺地区の児童の発生率という数値を用いて算出した推計値で新設校の規模等を予測している。</p>
2	<p>①特例措置について西丸子小が導入の方向で、今井小は検討をするという表現について、説明してほしい。</p> <p>②中学校区の検討がされることになった理由を教えてください。</p>	<p>①本市で特例措置を設定した事例がなく、他都市の状況もふまえて、2校とも同じ特例措置を導入する方向で検討を行っていく。</p> <p>②これまでの本市あるいは他都市の事例では小学校区を変更した場合、中学校区も変更を行っていることを前提に検討を進め、第3回通学区域等検討会議で中学校区を変更した場合の推計値とこれまでの保護者アンケート等の御意見をふまえ、変更しない場合の推計値をお示した。</p>
3	<p>①西丸子小学区の地域に今後、5つの大規模集合住宅の建設が予定されていることを考慮すると、推計値が低すぎると感じる。意図してこのような数値としているのではないか。</p> <p>②他の地域で設定している指定変更可能地域を設定してほしい。</p>	<p>①現在、建設中や今後、建設予定の計画を反映した推計値としており、何かを誘導しようと意図した推計値ではない。</p> <p>②町会長等から地域の一体性を重視してほしいという要望をふまえた検討を進めているが、近隣で設定されていることから今後、検討をしていく。</p>
4	<p>①高学年で希望を取った場合、高学年が1クラスになることも想定されるが、その場合でも新設校はそのまま開校するのか。</p>	<p>①規模に関係なく開校する。他都市の事例で、少人数でも開校していることを確認し、児童が責任感をもって多くの役割を全うしているという話も聞いている。</p>
5	<p>①1年生のみで開校するという事例はあるのか。検討しているのか。</p> <p>②37年度以降は、自然に減少していくことも想定されるが、そのことも想定した数値となっているのか。</p>	<p>①本市でも昭和50年代頃には、高学年がいらない中で開校した事例はあったようだが、直近の他都市の事例では、全学年で開校しているようだ。</p> <p>②現在、生まれている子ども数を参考に作成した推計値は34年までで、網掛けしている35年以降の数値は予測に予測を重ねた数値となっている。それ以降の数値も作成することは可能でご提示することも可能である。</p>
6	<p>中学校区を変更しない場合、減少する推計値となっているのはなぜか。</p>	<p>小杉地区は私学への進学率が高いため、そのことを考慮するとお示ししている推計値となっている。</p>

7	<p>①通学区域等検討会議委員に、小杉町3丁目の関係者は入っているのか。</p> <p>②特例措置検討の進め方を教えてほしい。</p>	<p>①今井小PTA会長や小杉町3丁目町会長に委員として入っていただき、検討を進めてきた。</p> <p>②特例措置の案を作成した段階で今回のような説明会を開催して御意見等を伺いたい。</p>
8	<p>①普通教室を30学級までにする方法を教えてください。</p> <p>②オープン教室は子どもが落ち着かないという事例もあるようだが、オープン教室にした経過を教えてください。</p>	<p>①ワークルーム等の部屋を転用して普通教室する計画である。</p> <p>②多様な学習スタイルの取組を目指して新校はオープン教室にしている計画である。</p>